

【学びの構造図】

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力。

熟考・評価

自分の考えや体験と結びつけて、考えを表現する

解釈

書いてあることを根拠にして推論する

情報の取り出し

文章全体を正確に理解する

授業におけるひとり学び

課題について自分の考えを書く。
意見と根拠を区別して書く。

★学習の振り返りを行う。
ひとり学びがみんな学びによってどう高まったか。

自分の考えを
書く活動

みんな学び

課題解決のコミュニケーションをする。
(ひとり学びの発表、質問、答え)

学びの約束

学習用語「たいせつ」

めざす子どもの姿

C 読むこと

B 書くこと

6年 5年	本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。
4年 3年	文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く。
2年 1年	文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合う。

A 話すこと・聞くこと

話型（重点）

6年 5年	互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う。	〇〇さんの考えを聞いて～。
4年 3年	互いの考えの共通点や相違点を考え、進行に沿って話し合う。	理由は～だからです。
2年 1年	互いの話を集中して聞き、課題に沿って話し合う。	はい。 ～です。

- 理解を深めさせる ICT
- ・ 学習内容定着のための提示
 - ・ 思考を助ける提示
 - ・ 課題解決のための提示